平成31年4月21日
執　　行

小田原市議会議員選挙 選挙公報

小田原市選挙管理委員会

市民の声が羅針盤

市民の命を大切にする 3つの約束 NEXT STEP

しのはら弘

ひろし

子育て・教育

安心して子どもを産み育て、すべての子どもたちが笑顔で成長していくために、「安心・安全」の環境づくりと「保育・教育」、「子育て支援」の充実に全力で取り組みます。

防災・減災

東日本大震災や熊本地震、西日本豪雨を教訓として、発生の恐れが高い「地震」や「水害」などの大規模災害への備えに全力を尽くします。

高齢者福祉

すべての高齢者が住み慣れた地域で、健康で自分らしく、生きがいをもって暮らし続けることができる地域づくりに全力で臨みます。

プロフィール

昭和26年11月16日生まれ
平成27年4月 小田原市議会議員選挙 初当選
【主な地域活動】富水地区社会福祉協議会副会長
富水地区まちづくり委員会広報分科会委員
前小台自治会長
小田原水泳協会理事長(公認 水泳指導管理士)
青少年バドミントンクラブ HSBA代表(日本バドミントン協会 公認コーチ)

鈴木よしのぶ の 市民のみなさんとの 7つの約束

小田原生まれ 早川育ち!!

① 行政・財政の徹底改革を進めます
② 地域経済の活性化と「小田原」のブランド化を推進します
③ 高齢者や障がいのある方が安心できるまちづくりを目指します
④ 将来を担う「おだわらっこ」の教育環境の充実を図ります
⑤ 小田原の恵まれた環境を守りつつ、有効活用へ転化します
⑥ 地震防災対策や危機管理に全力を注ぎます
⑦「卒・原発」を目指します

鈴木よしのぶプロフィール

昭和27年	3月25日	小田原市早川生まれ
昭和39年	3月	小田原市立早川小学校 卒業
昭和42年	3月	小田原市立城南中学校 卒業
昭和45年	3月	県立吉田島農林高等学校 卒業
昭和49年	3月	東京農業大学 農学部 卒業
平成15年	4月	小田原市議会議員 初当選
平成19年	4月	小田原市議会議員 当選(2期目)
平成23年	4月	小田原市議会議員 当選(3期目)
平成24年	5月	小田原市長選挙 落選
平成27年	4月	小田原市議会議員 当選(4期目)

鈴木よしのぶ

無所属

あなたによりそうまちづくり!

自治体間競争時代と呼ばれる今、小田原市政の指針は
■定住人口増加の促進(人口減少の抑制)
■観光立市(流動人口増加の促進)
これらを柱とするべきです。

★医療・福祉

市立病院の建て替えという課題を契機とした、最良の地域医療構築を目指します。医療・福祉に関わる皆様のお知恵をいただきながら、どの世代も生き生きして暮らせる社会づくりをします。

★地域経済・スポーツ

シティセールス・プロモーションの観点から地域経済の好循環モデルによる活性化を考えます。
スポーツ産業が注目され、世界的スポーツイベントが迫る今、皆様と地域への還元をテーマに取り組みます。

★子育て・教育

保育環境の改善は、小さなことでも断続的にスピード感をもって行います。
命を第一に、一人一人が尊重され、学びが新しい時代を生きる力となるような教育体制を確立します。

鈴木聖 profile

1979年 扇町生まれ。妻と長男(6歳)の三人家族。城山在住。
足柄小学校・白山中学校・小田原高等学校、卒業。
小田原市商店街連合会 青年部 会長／駅前おしゃれ横丁商店会 役員
シグマ精器株式会社 代表取締役／しゃれ横JAPAN合同会社 代表社員
小田原ナイター 主宰／ショコラ・デュ・パンダ オーナー／小田原社会起業研究会 代表
神奈川県立小田原高等学校同窓会 交流委員
社会福祉法人荻窪保育園 後援会長(平成30年度)

小田原市政に全力投球!フルスイング!
www.suzukihijiri.com info@suzukihijiri.com

鈴木聖

すずき ひじり

無所属

(39歳)

住民に、やさしい 環境に、小田原へ! 次世代に、

■ 市立病院再整備
利用しやすい動線、設備の市立病院へ。
■ 高齢者福祉・地域福祉の強化
地域包括支援センターと地域との連携強化。
■ 里地里山・農地の環境保護
シカ等の獣害対策と農地の多面的機能の維持。
■ 企業誘致で経済活性化と人口増
健康産業など新興企業誘致で生産人口増。
■ 財政健全化で次世代の負担軽減
市有財産の有効活用、公会計改革。

民間出身、無所属だから変えられる。
広報紙「小田原市政NEWS」発行中。

井上まさひこ 検索

◇昭和39年小田原生まれ小田原育ち
◇新玉小→城山中→小田原高→法政大卒
◇IT企業→(株)井上種苗
◇2011年市議会議員初当選、3期目挑戦
◇資格：宅地建物取引士、情報処理技術者

井上まさひこ

無所属

市民のくらしと平和を守る

住民と共産党議員団が協力し、国保料値上げ抑制、小中学校の普通教室にエアコン設置、中学卒業まで医療費無料化を実現。消費税増税を延期し、憲法9条による平和を守ってきました。声をあげれば政治は変わります。富裕層でなく庶民のために、武器より暮らしへ。

政策
・国保料は1兆円の公費投入で大幅値下げ
・教員を増やし子供に目が行き届く教育を
・認可保育所を増設し全員が入れるように
・市民が使いやすく品質が確かなホールを
・異常気象と大震災を想定し防災の強化を

消費税10%中止
9条「改憲」NO!
原発ゼロ 再生可能エネルギーへ

横田さんに期待します
金子あそみ (鴨宮歯科医院 院長)
今津 一男 (神奈川県視覚障害者 横田えいじ後援会長)
野田 稔 (神奈川土建西相支部 日本共産党後援会長)
原田 敏司 (前小田原市会議員)

【プロフィール】
1957年高知県高知市生まれ
静岡大学理学部物理学科卒
民間企業で
システムエンジニアとして研究・開発
2012年と17年に衆議院選挙神奈川17区候補

横田えいじ

日本共産党

公約

新しい小田原へ

①人口減少社会への挑戦
「子育てへの夢を持てる」子育て支援の充実

②地域経済の底上げ
観光を軸とした地場産業の振興
国・県と連動した地方創生の積極的な推進

③教育環境の整備
教育の質の向上
3学期制や土曜授業を視野に入れた確かな学力の育成

④防災力の向上
自分たちのまちは自分たちで守る!
地域防災力の向上

⑤地域医療の充実
小田原市立病院の早期建替の推進
地域医療機関連携により最適な医療サービスの提供

⑥社会基盤としての社会インフラの整備
まちの血管である道路・橋などの計画的な整備
公共施設の効率的な運営

大川ゆたか

54歳

人とまちのコーディネーター

—3期目に挑戦!活動型議員—

■教育 子ども達の未来のために
教育環境の充実をめざし、現場の声を市政に届けます。
小田原の自然環境・歴史文化芸術を生かし、小田原ならではの生涯学習を推進します。

■子育て支援 福祉・医療
子どもからお年寄りまで安心して暮らせる小田原に
子育て支援体制の強化、高齢社会への対応、福祉・医療の充実は市民にとって切実な問題です。教育環境とも連携し、地域で子どもを育てるしくみづくりを提案していきます。

■まちづくり 輝く生活の場を育てるために
市民活動・地域活動、地域を生かした産業を応援します。
議会を身近に感じてもらい、市民と市政をつなぐパイプ役として、協働できる社会のしくみづくりを市民とともに考え、ともに働きます。

プロフィール
○小田原城内高校卒業○松田自動車学校勤務○市役所臨時職員○小田原ウィメン・プラス代表○小田原の文化と教育を語る会副会長○美しい久野里地里山協議会会員○おだわらシネマトピア会員他○陶芸家の夫、その父、二人の娘の5人家族○小田原市根府川在住
主な議員活動
建設経済常任委員会・厚生文教常任委員会・議会広報広聴常任委員会・議会運営委員会・予算特別委員会決算特別委員会・議会改革推進委員会他

鈴木あつこ

無所属

55歳

ビジョン —構想—
「主権者である小田原市民の声を反映させ、地域の小さな問題から、地域を盛り上げる為の活動推進を図り、小田原市民が幸せで住みやすいまちづくり」の実現。

ミッション —使命—
「自らの行動力を発揮し、安心・安全そして魅力ある小田原」を創る活動。

バリュー —価値観—
「共感・協働」を信念に掲げ、市民の皆様との共通理解と、自ら先頭に立ち率先して働きます。

教育環境の整備
明るく朗らかな子ども達の育成のため、いじめやSNS等の問題解決と、今の時代環境にあった子育て支援を考え実行します。

「伝統・文化・歴史」
小田原の未来を創るのに欠かせない分野です。
地場産業の振興と企業の事業継承を軸に小田原の魅力を向上させ小田原のブランド力のさらなる強化のため尽力します。

これからのインフラ整備
小田原のこれから(今?)の大きな問題です。
多くの建物やインフラの更新時期がこれから重なります。
安全で安心の住みやすい未来のための基盤がしっかりと担保されるよう提案をします。

大規模災害に備えて
色々な災害を想定し、いざという時、住む人々が困ることのない物資・整備等の充実を図ります。

きれいな街づくり
ゴミ集積所の維持管理の問題や、環境美化に取り組みます。

大川しんさく選挙事務所
〒250-0862
小田原市成田423-6
ホームページ ookawashinsaku.com

大川しんさく

おおかわ

平成から令和へ "情熱"のまちづくり

3期12年、市議会議員を務めさせて頂きましたが、この間、少子高齢化の波は弱まることはなく、大都市への一極集中化は進み、地方都市は疲弊してきております。

令和の時代は地方のサバイバル競争の時代となります。地域が「稼ぐ力」を身に付け、持続可能な社会を構築していく時代がやってきました。

58歳
国民民主党 こくみん

皆さんの声を市議会で実現!

まちづくりは一朝一夕に出来るものでなく、大所高所に立ち、長期的視野で考えていかなければなりません。小田原の未来に責任をもち、次世代に誇れる小田原を創っていきます。

たわら こうたろう
俵 鋼太郎 プロフィール

昭和35年 小田原市南町(現住所)に生まれる
昭和48年 本町小学校(現三の丸小学校)卒業
昭和51年 城山中学校卒業
昭和54年 小田原高等学校卒業
昭和58年 明治学院大学卒業
株式会社エクイオン入社
平成19年 小田原市議会選挙 初挑戦、初当選
平成31年 4期目への挑戦

国民民主党公認

俵 鋼太郎

たわら こうたろう

平成31年4月21日
執　　行

小田原市議会議員選挙 選挙公報

小田原市選挙管理委員会

夢成（遂げる
～生まれ育った故郷のために～

住んで！訪れて！働いて！良し

経済が「もっと」活気あるまち
子育てに「もっと」手厚いまち
お年寄りが「もっと」元気に暮らすまち

皆様の
お困りごとや
悩みごとを
預けてください。

神戸秀典 かんべ ひでのり
1972年国府津生まれ、7歳と12歳の2児の父、国府津小学校・中学校、西湘高等学校 卒業。
◆小田原地区厚生文教常任委員会 副委員長(平成31年)◆小田原地区総務常任委員会 副委員長(平成31年)
◆小田原地区建設経済常任委員会 副委員長(平成31年)◆小田原ロータリークラブ 会員
◆小田原箱根商工会議所青年部 会員◆小田原青年会議所シニアクラブ 幹事
◆日本JCシニアクラブ拡大支援委員会アドバイザー◆国府津商工振興会 理事
◆国府津地区体育振興会 顧問◆国府津FC 顧問◆小田原駅前東通り商店街青年部 厳促委員長
◆小田原市商店街連合会青年部 会員◆(有)ヒノデ 代表取締役
◆小田原箱根商工会議所観光飲食部会 役員◆小田原魚街生協会 青年部 部長
◆小田原親子保存会 笛吹◆国府津祭親子保存会 副会長◆小八幡祭親子保存会 指導者
◆小田原かまぼこ通り活性化協議会 顧問

神戸ひでのり
無所属
（46歳）

あなたの声を 市政へ反映！

公明党公認

奥山こうじろう
（61歳）

ごあいさつ

平成15年4月に初当選以来、4期16年間、皆様方のご支援を賜り深く感謝申し上げます。
常に「生活者の視点」に立ち、皆様の納得できる市政を目指し、情熱をもって「豊かな自然あふれる小田原」の発展のため、全力で活動して参ります。

実現しました！

○小児医療費無料化を中学3年生まで拡充
○小中学校トイレの洋式化推進
○駅周辺にレンタサイクルを設置し、観光客の回遊性を向上
○ドクターヘリの離着陸場所を新設し運用開始

プロフィール

○生年月日	昭和33年生まれ
○出身地	小田原市東町
○学歴	町田小学校・白山中学校 吉田島農林高等学校 関東学院大学経済学部卒業
○趣味	映画鑑賞・ウォーキング
○家族構成	母・妻の3人家族
○経歴	元小田原市議会副議長 元山王小学校PTA会長 元小田原警察署少年補導員

愛する日本のために

超高齢社会の買い物難民対策を

今後心配されることは、免許証返上後等の高齢者の買い物や診療への対策です。この3年間、橋地域では路線バス系統改編の実証実験を重ねてきましたが、コミュニティバスなど新たな交通手段確保に向けて、専門家を交え、引き続き導入検討を行います。

赤ちゃんの笑顔のために

国や地方の自治体は待機児童解消に躍起になっています。でもお母さん？赤ちゃんの時期は一生のうちの数年間だけです。毎日大変でもいつもお母さんが寄り添ってあげられませんか？乳幼児はお母さんといる時が一番安心できるのではないでしょうか。
家庭育児を推奨する声が少なくなっている昨今に憂いを感じます。家計が苦しくとも、常に子供と一緒にいる時間を作ってやりたい。そんなお母さんを応援します。それが私の子育て観です。

究極のエコカー・カブでの遊説

選挙中は今回も原付カブで遊説します。初選挙から24年、いずれの選挙も自転車やバイクだけで一週間の選挙を戦ってきました。今回も自動車が通れない道でも市内を細かく回り支持を訴えていきます。

☆昭和36年生まれ　さそり座　血液型A型
☆小田原市立下中小、橘中学校卒業
☆神奈川県立足柄高校卒業（第一期生）
☆東海大学教養学部生活学科卒業
☆衆議院議員故亀井善之代議士秘書
☆小田原市議会議員（6期）
☆議長、全国施行時特例市議会議長会会長
☆橘北地区青少年健全育成協議会副会長
☆民間防犯団体橘ブルーアイズ隊長

自民党推薦

加藤仁司
（ひとし）
無所属
【57歳】

新しい小田原市を創造する力

子育てを楽しめる街
思いやりのある街
健康寿命がのびる街

安心・安全な災害に強い街
歴史と文化のかおる街

《プロフィール》

昭和 42年	7月11日生まれ 秋山政勝（元・県議会議員）の長女	
昭和 55年	小田原市立 大窪小学校	卒業
昭和 58年	小田原市立 城南中学校	卒業
昭和 61年	県立小田原城内高校	卒業
平成 3年	早稲田大学第一文学部	卒業

カネボウ化粧品勤務後、結婚し家庭に入る（三女の母）

私たちは「つのだまみ」さんを推薦します

◎奥津 憲仁さん　◎小田 淳さん　◎川口 真男さん
◎河村 定夫さん　◎小泉 政治さん　◎佐藤 北久山さん
◎戸田 博史さん　◎中島 春子さん　◎和田 美恵子さん

つのだまみ
（無所属51歳・新人）

安心して 暮らせる街へ！

公明党公認

荒井のぶかず
（あらい）
（59歳）

ごあいさつ

このたび、小田原市議会議員選挙に初めて挑戦させていただくことになりました。
介護の現場で働いてきた経験を活かし少子高齢化の社会の中で皆様が安全に安心して日々の暮らしができるよう努めてまいります。そのために、皆様の声をしっかりと市政に反映していく決意です。

私は取り組みます！

◎元気で安心して暮らしていけるように、介護環境の充実、認知症予防対策、安否確認、生涯現役で活動できる環境づくりと 生きがいづくりに挑戦していきます。
◎少子化が進む中で子どもを安心して生み育てられる環境整備を進めていきます。
◎災害に強いまちづくりを推進していきます。

小田原公明党の実績

○小児医療費助成対象を中学３年生まで拡充
○海抜標示板の設置を推進
○栢山駅・富水駅・螢田駅に上下線改札口設置
○小田原駅地下街に期日前投票所の設置を推進

【プロフィール】
○昭和３５年小田原生まれ（５９歳）
○家族 ： 妻と子ども２人の4人暮らし
○出身校：西湘高校
○趣味 ： バスケットボール、スポーツ鑑賞
○公明党小田原支部副支部長

ストップ消費税10%、憲法9条改憲

支所、窓口、連絡所等の廃止見直し！ 住民が安心してくらせる小田原市へ

【みなさんとともに、力をつくします】

○豊川、上府中、下曽我、曽我の支所・分館、桜井窓口コーナー廃止の見直し
○国保・介護保険料の負担軽減、特養ホームの増設
○こども医療費は１８歳まで無料、所得制限をなくす
○市営住宅の整備と修繕、退居時の負担軽減
○富士道橋の歩道に安全策の設置を
○防災対策の強化

岩田やすあき候補に期待します

関野隆司（小田原市議会議員）
大野悦子（医療生協かながわ・小田原診療所医師）
大須眞治（中央大学名誉教授）
田嶋英輔（党小田原北部後援会会長）
小谷カツエ（たんぽぽ保育園園長）
佐藤忠明（小田原地域生健会会長）
富田彬道（おだわら革新懇事務局長）

【プロフィール】
1981年生まれ。桜井小学校、城北中学、足柄高校、法政大学経済学部経済学科卒・大学院経済学研究科修士課程修了。現在、党西相地区職員。小田原市栢山在住。家族は、父、母、弟。趣味は読書。

岩田やすあき
日本共産党

■ずっと安心して住める街に
■市政情報の見える化
■行政改革の推進

私は、５期２０年間、**月刊武松の発行**と**議会報告会**など積極的に広報・議会活動を行ってきました。
これからも皆様と情報を共有し、**しがらみの無い、確かな目**で、将来を見据えた政治判断をしていきます。

プロフィール
● 昭和40年　市内国府津生まれ
● 市立国府津小学校、国府津中学校卒
● 県立西湘高等学校卒
● 東京職業訓練短期大学校電気科卒
● 昭和61年4月 日本真空技術(株)入社
　ロボット、ディスプレイ製造装置等の開発に従事
● 平成11年5月　小田原市議会議員 以降5期連続当選
● 平成11年6月　日本真空技術(株)退社 以降議員専業
● 小八幡在住　家族5人（妻、1男2女）

主な役職
● 少年補導員・サイバー セーフティアドバイザー
● 県公安委員会少年指導委員
● 酒匂中学校区青少年健全育成協議会理事
● 議会選出監査委員（平成 23 年度）
● 市議会副議長　（平成 20 年度、平成 24 年度）
● 市議会議長　（平成 27～28 年度）

公式HP

武松忠
（たけまつ ただし）
無所属
53歳

脳血管疾患対策と リハビリ体制を考える

平成28年 本市は県下19市の脳血管疾患の死亡率が２位と高い状態が続いています。心疾患で亡くなる方が多いのも現状です。

取り組みます

・救急救命医療の充実
・救急病院からリハビリ病院へ
　スムーズに転院できる体制作り
・医療介護に携わる方の働きやすい環境作り

健康寿命を延ばすために

・よく噛めておいしい食事が出来る様にする
・栄養を摂り体を支える筋力を増して
　体力をつける取り組みを進めます
・体力がついたら歩き 身の周りのことが
　出来る取り組みを進めます

以上のことを実現するために

・市立病院の早期建て替えを推進します
・歯科口腔保健条例を作り市民を守ります
・市立病院に口腔外科を設置して
　市民の口腔ケア・社会復帰を後押しします

無所属・５０才

鈴木かずひろ

市民の生命（いのち）と財産を守る 「防災安全都市小田原」を目指します

地震・津波・集中豪雨・火山噴火などの防災対策は行政の責務。絶対に犠牲者を出さない街づくりが必要です
防災ラジオの各戸配布、一部屋耐震補助などを導入します

活力あふれる安心で安全な街づくり 人口を増やし 小田原を活性化します

就職・結婚・出産・子育て環境を整備
高齢者も安心して暮らせる街づくり
交流人口を増やし街のにぎわいづくり

追加提言
さらなる議員定数の削減

市政情報紙 鈴のり通信
これからもお届けします。

《プロフィール》1949年小田原市浜町生まれ
新玉小学校　白鴎中学校　小田原高校　明治大学卒業
元小田原市理事　小田高同窓会役員　小田高弓道部OB会長
明治大学校友会役員　14区新宿自治会役員　浄土宗心光寺世話人
趣味：テニス　インディアカ　俳句　陶芸　健康麻雀

鈴木のりお
無所属

この選挙公報は、告示日（４月１４日）の立候補届出日に候補者から提出された原稿をそのまま写真製版によって印刷したものです。

平成31年4月21日
執　　行

小田原市議会議員選挙
選　挙　公　報

小田原市選挙管理委員会

田中まさる
無所属

あなたの笑顔が見たいから
幸せのまちをつくりましょう

☆教員生活３８年の経験を活かして「未来を支えていく子ども達の教育環境ならびに子育て支援環境の更なる充実、および教職員の待遇改善」

☆心ある行政サービスに重点を置き、共助・共生の心を深めて「心豊かな幸せのまちの実現」

☆市内全域の活性化と環境保護、移動弱者の救済を目指して「パーク・アンド・ライドとＬＲＴを用いた希望ある未来のまちづくり」

私は生まれ育った小田原の明日をつくるために皆様と共にがんばります!!

プロフィール

○田中　優（まさる）　６０歳
1958年11月29日小田原に生まれる
【学歴】
○御濠端幼稚園⇨小田原市立城内(現三の丸)小学校⇨小田原市立城山中学校⇨明徳学園相洋高等学校⇨駒澤大学法学部卒業
【職歴・役職】
○相洋中・高等学校へ奉職社会科教諭として３８年
○小田原市第22区宮之前青年会元会長
○小田原市第22区自治会副会長
○松原神社氏子総代　小田原市本町在住

浅野しょうた
あさの　現職　無所属（自民党推薦）
41歳

住みたくなるまち
小田原の実現

地域の活性化　地域力アップを目指します
住んで良し、訪れて良し、歴史文化豊かな自然、交通利便性など、このまちの素晴らしい魅力をさらに発信していき交流人口・定住人口の増加に取り組んでまいります。

子育てに関心の強い地域を目指します
人口減少対策として、子育て世代が安心して子供を産み育てることができる環境づくりが必要ですこども食堂の支援や学習支援、孤食対策等に積極的に取り組んでまいります。

医療と福祉のつながりのある地域を目指します
市民が安心して暮らせるよう市立病院の立て替えを促進してまいります。また、高齢者介護予防、元気なシニアが活躍できる環境づくりにも取り組んでまいります。

若者が力を発揮できる地域を目指します
企業誘致の強化による雇用の創出、起業家支援など、若者が地域で活躍できる場の創出に力を入れてまいります。

環境にやさしい地域を目指します
公共施設等のＬＥＤ化や遮熱対策、少水力発電等再生エネルギーの活用など環境にやさしい地域の実現に取り組んでまいります。

プロフィール

昭和52年生まれ 41歳　　栢山在住・一児の父
桜井小学校・城北中学校・足柄高等学校 卒業
陸上部（円盤投げ）でインターハイ・国体出場
平成27年4月統一地方選挙当選（現在1期目）

～ 地域活動 ～
■ 栢山太鼓保存会　■ 地域見守り活動（栢山駅前通学路）
■ 桜井市民の会　■ 報徳桜を守る会
■ 小田原青年会議所シニアクラブ
■ FAO中長期委員会 副委員長（ベルマーレフットサル応援組織）
■ かながわ西観光コンベンションビューロー（地域連携DMO）

きむら正彦
きむら　まさひこ　無所属

市民目線を大切に
小さなつぶやきを
大きな政策に!!

市民の方々と対話し常に現場主義を基本に問題を解決。そして、経験と実績を活かし対話力・実行力・調整力で動き、まちづくりに取り組みます。

- 企業誘致の強化
- 市立病院の再建
- 待機者ゼロのまち
  保育園入所・特別養護老人ホーム入所
- 地域コミュニティの育成支援
- 行財政改革と分度手法の実行

プロフィール

○1969年　専修大学法学部法律学科卒業
厚木市役所入所
○1987年自治大学第88期卒業
○2005年厚木市助役就任
●2011年小田原市議会議員初当選
●2015年小田原市議会議員2期目当選
●2017年小田原市監査委員
一家族一妻

◉回遊性のあるにぎわいの街づくり
◉定住人口施策の実行
◉防災安全都市宣言
◉生活基盤の総点検
◉高齢者政策戦略プランの策定
◉支所の再編
◉荒廃農地の解消
◉地域センター構想の実現
◉地産地消条例の制定
◉開かれた行政と情報公開

ブログ:http://blog.livedoor.jp/kim_masa/　Twitter:@kimmasa0215

かがやけ小田原
対話力・実行力・調整力
3つの力を生かして取り組みます
時代の変遷と生活環境の変化にともない
「変わるべきこと」と「変えるべきこと」が必要です

安野ゆう子
やすの　無所属

いのち輝く小田原に!!

～少子・高齢社会をのりきり
明るい未来をつくろう～

① いつまでも安心して住み続けられるまち
② 子どもたちが健やかに成長できるまち
③ 行財政改革を推進し、健全財政のまち
④ 災害から命を守る仕組みづくり
⑤ 食・農・環境が連動した健康あふれるまち
⑥ 市民活動を推進し、活力あふれるまち

安野ゆう子の政治のものさし
◎庶民の感覚かどうか
◎みんなの幸福につながるか
◎弱者に目が向けられているか
◎小田原の未来に役立つか

プロフィール
○昭和24年生まれ
○名古屋市立保育短期大学卒業（元）保育士
○両親の在宅介護の経験から、「私の介護日記」出版
○市議会議員4期、各種委員会委員長を歴任
○平成30年度小田原市議会副議長
○平成26年度小田原市監査委員

宮原げんき
みやはら　無所属　自民党推薦
新人 39歳

小田原を
もっと元気に!!

山川海をもっと生かしたまちづくり

・小田原の素晴らしい環境を観光に生かして地域活性化に展開し、山・川・海の保全と共に一次産業を守り、減災に取り組む。豊かな環境を教育に生かして次世代に繋げます。
・将来を見据え持続可能でより幅広な「魅力あるまちづくり」を目指します！

声を届け情報を発信

・魅力あるまちづくりには市民の声が不可欠です。人口が少ない地域の声もしっかり届けます。住みやすいまちづくりを進めることで住みたいまちへ。市外の方も「住みたくなる小田原」を目指します。
・活動報告や新たな情報はホームページに随時掲載し、紙面発行でも市政発信していきます。

<プロフィール>
1979年12月21日生・県立足柄高校卒業、家族構成 妻と三人娘と猫
鬼柳在住・趣味サーフィン、カメラ、DIY、芝生
小田原サーフィン協会理事長、海岸地域活性化イベント開催
2018年度千代中PTA副会長、2019年度千代中PTA会長

<宮原げんきホームページ>URL又はQRコードから是非ご覧下さい
小田原をもっと元気にします！
https://www.genkimiyahara.jp

金崎とおる
かなざき　公明党公認

ともに歩む行動の人！

ごあいさつ

このたび、小田原市議会議員選挙に初めて挑戦させていただくことになりました。地域金融機関で事業承継、地域医療、介護、障がい福祉整備事業を専門に働いてきた経験をいかし、少子高齢化が進む本市において、「安全で安心して暮らせるまち」「活力のあるまち」の実現に向け、お一人おひとりの声を市政に反映して参ります。

私は目指します！

○地域医療・介護・障がい福祉の切れ目のない体制整備及び人財確保に取り組みます！
○学校給食に小田原産の食材を使ったメニューを増やします！
○災害に強い街づくりに取り組みます！
○雇用の拡大に取り組み経済を活性化します！

プロフィール

■1965年　小田原市生まれ
■1972年　下府中保育園卒園
■1978年　城内小学校卒業
■1981年　城山中学校卒業
■1984年　足柄高等学校卒業
■1990年　創価大学経営学部卒業
■1990年　箱根信用金庫入庫
■1998年　さがみ信用金庫入庫
○趣　味　歴史探訪・読書
○信　条　一人の人を大切に

（53歳）

田中りえ子
日本共産党

憲法を生かし、くらし・福祉を第一に

私は、この４年間、中学校卒業までの小児医療費助成、認可保育所・特別養護老人ホームの増設、国保料の引き下げ、小・中学校の普通教室にエアコン設置などを市民のみなさんとご一緒に実現させてきました。今後もみなさんの声を議会に反映させるために頑張ります。

子どもたち、高齢者、障がい者が大切にされる市政をめざします

◆１８歳までの子ども医療費無料化
◆認可保育所の増設で待機児童解消
◆重度障がい者医療費無料化の堅持
◆特別養護老人ホームの増設
◆住宅リフォーム助成制度の拡充
◆津波や防災対策の強化
◆支所等廃止の見直しを

介護保険料、国民健康保険料の大幅な引き下げ
消費税１０％増税ストップ
憲法９条改憲反対・原発ゼロ

【プロフィール】

１９５３年生まれ、静岡高校卒業、光明保育園（現クレヨンの森保育園）、飯田岡保育園（現たんぽぽ保育園）で保育士として勤務、小田原市議５期、議会運営委員長、議会改革推進委員会副委員長などを歴任、会派・日本共産党代表、家族は夫、１男１女

いわさき洋一
無所属

未来に つなぐ
～地域と市政を「つなぐ」仕事をします～

皆さまの声が原動力！

皆さまの「声」・「想い」を、共有し、市政へ！！
お電話やSNSを通じて、情報共有を図ります。
facebookページ：岩﨑洋一市政研究会
facebookプロフィール（岩﨑洋一プロフィール）
岩﨑洋一で検索

★ 生産世帯定住人口の拡大
★ 子育て支援・教育環境の充実
★ 地域医療体制、福祉の充実
★ 地域住民活動・交流拠点の整備
★ 地域防犯・防災力の強化下支え
★ 環境保全と、地の利を活かした経済振興
しがらみのない是々非々の思考で挑みます!

プロフィール
1964年5月18日生まれ。54歳。無所属（新人）。
元NEC日本電気ホームエレクトロニクス。東海大学工学部卒。
【地域活動】
小田原市立豊川小学校PTA副会長、飯泉青少年育成育成協議会会長、小田原市青少年指導員・青少年育成推進員、豊川青少年育成連絡協議会会長、豊川小学校放課後児童クラブ運営委員長、豊川地域コミュニティー運営協議会委員、鴨宮中学校学校評議員、鴨宮地区まちづくりワークショップ委員　　等々歴任
青パトによる地域見守活動に従事(NPO日本犯罪防止事業団理事長)
家族：妻、息子3人、猫1匹　趣味：車・オートバイ・ドローン・写真撮影
小田原市飯泉659－11　090-6564-9110

しばはら利彦
としひこ　無所属 51歳

毎日が楽しい
小田原をめざして!

◆ 市民の声を市政に活かす ◆
◆ 小田原をよりよいまちに ◆

① 妊産婦の医療費無料化、未来を託す子ども達に夢と十分な教育を
② 女性の起業、子育てママの就職支援
③ 認知症予防プロジェクトの立ち上げ
④ 高齢者福祉施設、レジャー施設を拡充して安心と生きがいを
⑤ 企業誘致と雇用拡大、税金を有効活用して健全な財政基盤を
⑥ 地域資源を生かした、観光・農水産振興と小田原ブランド化

新人

プロフィール
・1967年 横浜市生まれ
・関東学院大学 経済学部卒
・大学在学中、海外を放浪
・会社員となる
・会社経営者となる

この選挙公報は、告示日（４月１４日）の立候補届出日に候補者から提出された原稿をそのまま写真製版によって印刷したものです。

平成31年4月21日
執　　行

小田原市議会議員選挙
選　挙　公　報

小田原市選挙管理委員会

これでいいのか!! 小田原市 郷土愛と、情熱でよみがえる

【私の決意】
2市8町の中核都市、小田原を実現すべく自ら汗を流し、皆様とともに行動します。

小田原は 今
小田原城、鉄道5社、箱根の玄関口、漁港、風光明媚の好条件がありながらなぜ？

中心市街地の衰退、年間約1000人の人口減、県内56市町地価ランキング38位と資産価値の低下など市は、危機的状況にある。

小田原は 未来
政治は、結果責任です。一緒に、明日の小田原を築こうではありませんか。

❶徹底した行政改革を行い、行政のスリム化をはかります。
❷中心市街地の活性化を図り、次世代に誇れる歴史と文化が共有できる再整備と10年後の街の顔をみせる。
❸財源確保のため企業誘致と雇用の安定を目指す。
❹新しい命と心温まる教育福祉社会を築きます。
❺農業・漁業の成長産業化の推進に努めます。
❻障害者スポーツの環境作りと、酒匂川グランドの移動。台風時の危険回避、パークゴルフ場新設に努めます。
❼子育て世代が住みやすい保育教育システムの充実に努めます。
❽年金生活者、生活困窮者、弱者のための支援システムを図ります。

日本維新の会 公認・希望の党 推薦

杉山三二郎（すぎやまさぶろう）

杉山三郎プロフィール

昭和22年小田原市浜町に生まれる
小田原市立城内小学校
小田原市立城山中学校
県立吉田島農林高等学校
建設省
大井町役場企画課
平成15年小田原市議会議員初当選
平成19年小田原市議会議員当選(2期)
平成23年神奈川県議会議員に立候補
〈主な活動〉
小田原ソフトボール協会副会長
ビック・マドラーズ監督
2市8町合併推進市民の会監事

約160の国と地域を旅した 元小田高教師の挑戦

政策の柱は義務教育改革と子育て世代の若者支援。

大学卒業後、貧困や紛争地域を中心に世界を旅しました。教師として「活きた生の世界を伝えたい。」と休暇は全て外国へ調査に費やしました。自ら志願した定時制高校の現場では、こどもの貧困の問題に直面しました。

こどもこそ地球の宝、一人ひとりのこどもが徹底的に大切にされる社会を作りたいと一念発起、背水の陣を敷きました。世界的課題が国内でも浮き彫りになってきた今時代に、世界的視野を持って街づくりに挑みたい。

新婚で働き盛りの現在無職。鴨宮在住の38歳。誰よりも若い力と情熱で小田原の未来をきり拓きます。

小谷英次郎（こだにえいじろう）

立憲民主党

- 鳥取県鳥取市で江戸時代創業の老舗和菓子屋亀甲やの五代目小谷治郎平の次男として誕生
- 早稲田大学政治経済学部政治学科(雄弁会卒)
- 卒業後一か月間、終末医療の病院で祖母と生活をともにし、看取ってから世界一週の旅へ
- アフリカ・スラム街の孤児院に住み込むなどアフリカ中東アジアを完全陸路のみで縦横断
- 帰国後は銀座のBARのマスターを経験
- 小田原高等学校に赴任　神奈川工業定時制へ
- 昨年11月、妻・芳絵と結婚　同12月、退職

改革1 義務教育改革
改革2 子育て世代の若者支援
改革3 行財政改革
改革4 観光戦略
改革5 自然エネルギーの推進

あなたの声を活かします!! 魅力あふれる 小田原の未来に向けて！

1 子育て・教育環境の改善
- ●子どもたちが生き生きと学び、夢を実現できる学校をつくります。
- ●先生方が子どもとじっくり向き合える時間を大切にした学校をつくります。

2 労働・雇用環境の改善
- ●子育てや介護をしながら、安心して働くことができる条件整備をはかります。
- ●職場環境を守り、安定的な雇用の確保と創出で、笑顔で暮らせるまちをつくります。

3 安心して暮らせるまちづくり
- ●地震や水害などに備え、安心して住みつづけることができるまちをつくります。
- ●平和・人権・環境が大切にされ、人と人とのつながりが感じられる温かいまちをつくります。

清水たかお（しみず）

無所属
53歳

清水たかお プロフィール
- ●1965(昭和40)年7月8日生まれ(53歳)
- ●足柄小、白山中、西湘高、文教大学教育学部卒
- ●元小学校教諭(29年間)
  富士見小、湯本小、国府津小、豊川小、矢作小
- ●父、母、妻、息子(中2・小6)、娘(小4)
- ●趣味…旅行、釣り、サイクリング、テニス
- ●好きな言葉…継続は力なり
- ●休日…子どものサッカーの応援
- ●小田原市蓮正寺在住

「小田原市民の力は『寄り添い力』」

観光・移住の方々と接していると「小田原の人は温かい」と仰ってくださいます。私も幼い頃、地域のその温かさに支えて頂いたうちの一人でした。生まれつき片耳難聴者である私を地域のお母さん方がこの障害を一つの個性として受け入れてくださいました。

現在に至るまで、地域情報誌『tricot（トリコ）』を発行する広告代理店に勤め、小田原を中心とした情報を発信。その後、日本地域創生学会に所属。その活動から地域創生事業に関わり、地域の課題と向き合い、産官学民の連携・支援に従事し学んで参りました。

【医療福祉】
誰もが健康で長生きできる社会を実現する為にも「治療から予防へ」それには医療・福祉・地域の連携が重要性となってきます。コミュニティの場が多いほど寝たきりや認知症を予防できると研究発表もあります。統合医療、未病の予防、地域包括システム等、地域の可能性を推進してまいります。

【経済観光】
「物見遊山」的な見物中心の観光から、その地域ならではの「ディープな体験」へ着目する必要性があります。昨年の北條五代祭りではある企業が自治会とタイアップし御輿を担ぐ観光体験を実施しました。新しい観光資源を生むのではなく、今私たちの生活の一部となっているものこそに注目し、発信していくことが大切だと考えます。

【防災】
ハザードマップが作成されましたが、避難所及び対策が適正ではありません。逃げ遅れゼロを実現させる為には具体的な情報を可視化し行政・民間・市民（自治会）が共有することが必須です。地域全体でそれぞれの状況や役割を含めた実践計画を提言してまいります。

【子育て・教育】
様々な環境にある子育てを支援できる環境を整えます。子ども食堂・子どもの居場所等を地域の創造と捉え推進してまいります。

「近き者説び、遠き者来たる」地域の喜びを感じるまちづくりを目指してまいります。

池田あやの

（41歳）

市民に寄り添ったまちづくりを！

私は、約３７年間の小田原市職員として培った経験と知識を活かし、誰もが安心して暮らせるまちづくりを推進してまいります。

【子どもたちが、元気にのびのびと育つまち】
学校等の教育環境の整備、通学路の安全確保、ジュニアスポーツの振興。

【高齢者が、安心していきいきと暮らせるまち】
ふれあいサロンの拡充、地域見守り体制の強化、高齢者体力づくりの推進。

【誰もが、健康で明るく生活できるまち】
まちづくり委員会等の活動強化、世代間交流事業の拡充、生涯スポーツの振興。

これらの取組みにより、子どもからお年寄りの方まで、すべての市民が「小田原に住んでよかった！」と実感できるようなまちづくりを全力で推進してまいります。

６０歳。無所属。元小田原市職員。
町田小学校・白山中学校・小田原高等学校
国学院大学文学部史学科（日本史）卒業。

（公財）小田原市体育協会競技委員会委員長
小田原バレーボール協会理事長
小田原地域小学生バレーボール連盟会長
桜井地区社会福祉協議会事務局長

おかべ直樹（なおき）

小さな声に寄り添い ずっと全力で！

公明党公認

ようたか子

（55歳）

ごあいさつ

2期8年間、皆様より真心からのご支援を賜り、心より感謝申し上げます。「一人の人を大切に」をモットーに、看護師としての経験を活かし、母の目線、女性の目線で様々な課題に取り組んで参りました。これからも、皆様からの貴重なご意見・ご要望をいただき、誠実に現場第一主義で働いてまいります！

ようたか子はお約束します！
- ●医療・福祉の充実
- ●子育ての支援・教育環境整備の推進
- ●女性の目線で防災・防犯対策推進
- ●ごみ減量・資源化推進

【プロフィール】
昭和39年生まれ 家族は夫、母、二男一女
小田原城東高校卒業 小田原看護専門学校卒業
横浜中央病院附属看護専門学校卒業
座右の銘　一人の人を大切に！

二期目へ挑戦！

池田あやの

（41歳）

おかべ直樹（なおき）

神永四郎（かみながしろう）

（無所属）

私の政策提言

議員活動二期八年の実績を活かしながら、今後も地域の皆様と情報を共有し、ともに考え、その声を市政に反映していきます。さらに、議員力・議会力を高めながら市民の誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指し、今後も取組んでいきます。

①教育の主体性と地域一体教育の発展
（学習力・体力・運動能力の向上、放課後こども教室の充実）
②健康増進・スポーツ活動の普及促進
（スポーツ人口の増加、障がい者スポーツの啓発と推進）
③「安心・安全」のまちづくり・地域づくり
（災害対策、防犯・見守り活動の取組み推進）
④小田原の基盤となる産業・財政・広域行政
（観光・地場産業の発展）
⑤福祉・地域医療
（子育て・介護・生活支援等の少子高齢化対策）

神永四郎 プロフィール

昭和26年9月15日 茨城県ひたちなか市生まれ
昭和49年 東海大学体育学部・体育学科卒業
昭和49年 明徳学園 相洋中・高等学校教諭
平成23年 小田原市議会議員
【歴任】 市スポーツ推進員／第30区自治会長
【議会活動】 建設経済常任委員会(副)／総務常任委員会(副)／厚生文教常任委員会(委員長)／広報広聴常任委員会／議会運営委員会(副)／議会選出(監査委員)

品格のある街小田原 ―とどけ 一人ひとりの声・思い―

きめ細かい支援のできる教育
- ・教職員・支援員を増やします
- ・小・中学校全学年の35人学級をめざします
- ・優れた知識・技術を持つ方々と学習活動・部活動を結びます

若者も安心して暮らせる街づくり
- ・地域のつながりを深める活動の支援
- ・医療・福祉の充実
- ・芸術文化活動の支援・推進
- ・市が委託する事業での労働条件の向上

1955年生まれ。東京都立大学経済学部卒。元公立中学校教諭（千代中・泉中・城南中にも勤務）
現在、鴨宮2区自治会副会長・おやじバンド団員。

荒木けいいち

無所属(新)

神永四郎（かみながしろう）

（無所属）

私の政策提言

議員活動二期八年の実績を活かしながら、今後も地域の皆様と情報を共有し、ともに考え、その声を市政に反映していきます。さらに、議員力・議会力を高めながら市民の誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指し、今後も取組んでいきます。

①教育の主体性と地域一体教育の発展
（学習力・体力・運動能力の向上、放課後こども教室の充実）
②健康増進・スポーツ活動の普及促進
（スポーツ人口の増加、障がい者スポーツの啓発と推進）
③「安心・安全」のまちづくり・地域づくり
（災害対策、防犯・見守り活動の取組み推進）
④小田原の基盤となる産業・財政・広域行政
（観光・地場産業の発展）
⑤福祉・地域医療
（子育て・介護・生活支援等の少子高齢化対策）

神永四郎 プロフィール

昭和26年9月15日 茨城県ひたちなか市生まれ
昭和49年 東海大学体育学部・体育学科卒業
昭和49年 明徳学園 相洋中・高等学校教諭
平成23年 小田原市議会議員
【歴任】 市スポーツ推進員／第30区自治会長
【議会活動】 建設経済常任委員会(副)／総務常任委員会(副)／厚生文教常任委員会(委員長)／広報広聴常任委員会／議会運営委員会(副)／議会選出(監査委員)

川崎まさかず

かわさき　無所属　49歳

活気溢れる 住みよい街小田原へ

市民の生の声を市政に届ける！

フェイスブックはこちら↑

これまでもフェイスブックやラインなど、SNSを積極的に活用し、幅広い世代の『市民の生の声』を聞いてまいりました。引き続き、そこに集まる様々なご意見を、一般質問等でもより一層反映すべく、市政に届くよう努めて参ります！

賑わい創出
地域観光で集客
小田原の魅力全開へ
小田原ならではのイベント開催でアピールを!

行政改革
身を切る思いで
行財政改革の推進を
議員定数削減で義務的経費削減を目指す!

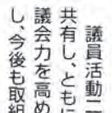
公共交通充実
公共交通拡充
便利で住みよい街へ
2019年春より
御殿場線 ICカード導入へ!

地域コミュニティ
地域の方々と一緒に
様々な課題に向き合う
地域の世代間交流を深めコミュニケーションの活性化へ!

経歴
1969年小田原市生まれ、西大友在住の49歳。神奈川県立西湘高校卒業。1990年YMCA健康福祉専門学校卒業後、ワーキングホリデーでオーストラリアへ。帰国後、飲食店経営。2015年から小田原市議会議員1期目。2019年予算特別委員会副委員長。家族:妻と一女一男。

すぐに行動！ 活力ある小田原へ！

地域・市政の発展に向けて
「議員力」・「議会力」・
「市民力」の向上



荒木けいいち

無所属(新)

神永四郎（かみながしろう）

（無所属）

私の政策提言

議員活動二期八年の実績を活かしながら、今後も地域の皆様と情報を共有し、ともに考え、その声を市政に反映していきます。さらに、議員力・議会力を高めながら市民の誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指し、今後も取組んでいきます。

①教育の主体性と地域一体教育の発展
（学習力・体力・運動能力の向上、放課後こども教室の充実）
②健康増進・スポーツ活動の普及促進
（スポーツ人口の増加、障がい者スポーツの啓発と推進）
③「安心・安全」のまちづくり・地域づくり
（災害対策、防犯・見守り活動の取組み推進）
④小田原の基盤となる産業・財政・広域行政
（観光・地場産業の発展）
⑤福祉・地域医療
（子育て・介護・生活支援等の少子高齢化対策）

神永四郎 プロフィール

昭和26年9月15日 茨城県ひたちなか市生まれ
昭和49年 東海大学体育学部・体育学科卒業
昭和49年 明徳学園 相洋中・高等学校教諭
平成23年 小田原市議会議員
【歴任】 市スポーツ推進員／第30区自治会長
【議会活動】 建設経済常任委員会(副)／総務常任委員会(副)／厚生文教常任委員会(委員長)／広報広聴常任委員会／議会運営委員会(副)／議会選出(監査委員)

平成31年4月21日
執　　行

小田原市議会議員選挙

選　挙　公　報

小田原市選挙管理委員会

川久保まさひこ

私の決意と約束

【小田原の明るい未来の実現】

世界の未来も担う子供達、小田原の発展を支えていただいたお年寄りの方々、市民の皆様が明るく誇りを持てる街づくりを目指します。

【安心安全の街づくり】

救えなかった数多くの命の重みを最も知る消防官としての経験、引き出しを最大限活かし、地震等自然災害の脅威を乗り越えて小田原の街を確実に未来へつなぐための施策を進めます。

投票日　4月21日(日)　午前7時～午後8時

投票についてご注意

◇投票所には投票所入場整理券をお忘れなくご持参ください。

◇投票所入場整理券を紛失したとき、または投票所入場整理券がお手元に届かなかった方は、投票所で係員に申し出てください。

投票用紙の書きかた

◇投票用紙に候補者の氏名を１人だけ書いてください。

◇候補者の氏名以外に落書きなどをすると無効となります。

◇字は、はっきりと書いてください。

期日前投票について

◇期間　４月１５日(月)から４月２０日(土)まで

◇場所･時間

（１）小田原市役所･川東タウンセンターマロニエ
午前８時３０分から午後８時まで

（２）小田原地下街ハルネ小田原
午前１０時から午後８時まで

投票できる資格

住所要件･･･本市の住民基本台帳に平成31年１月13日以前から登録（転入等）されていて引き続き投票日まで登録されている方。（登録基準日４月13日）

年齢要件･･･平成１３年４月２２日以前に生まれている方。

市内転居された方

◇４月１日までに届出された方は、転居先の住所の投票所で投票していただきます。

◇４月２日以降に届出された方は、転居前の住所の投票所で投票していただきます。

市外転出された方

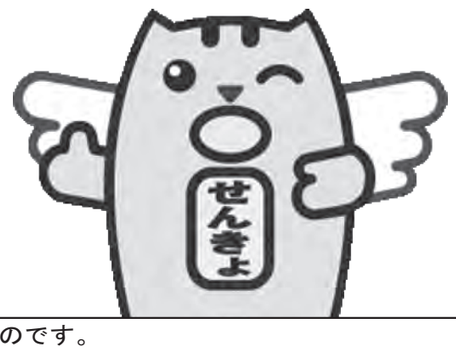
他市区町村に転出された方は、投票する資格を失います。

問合せ先（投票当日のみ）

◇投・開票本部　℡３７－９９２０

◇開票速報　小田原市のホームページ又は小田原市の携帯サイトをご覧ください。
※速報は午後１０時から（３０分ごと）

投票はわたしの声を届ける第１歩



この選挙公報は、告示日（４月１４日）の立候補届出日に候補者から提出された原稿をそのまま写真製版によって印刷したものです。